

年号：1990年

月日：6月2日～7月22日

災害名：梅雨前線による大雨〔根子岳崩壊〕の概要

六角川位置図



出典：国土地理院

【平成 2 年水害の概要】

- 平成 2 年 7 月の九州一帯を襲った梅雨前線による豪雨（根子岳崩壊）は、西日本一帯に大きな被害をもたらした。佐賀県六角川流域では、7 月 2 日 0 時頃から本格的な降雨となり、同日 5 時 6 時においてほとんどの観測所にて時間雨量 60mm を記録した。
- 観測史上まれにみる短時間の集中豪雨となり、六角川の塩見橋水位観測所では計画水位を超える最高水位 4.95m を記録し、流域全体において堤防の越水及び決壊、内水による甚大な被害が発生した。
- 雨は 6 月 2 日～7 月 22 日まで続き、熊本県などでは 200 箇所以上の崩落が発生した。

▼平成 2 年水害による六角川水系の被災状況

死者、行方不明者	1 名
流失及び全半壊戸数	47 戸
床上浸水	3,028 戸
床下浸水	5,658 戸
農地浸冠水	7,933ha

出典：六角川水系河川整備計画（平成 24 年度 8 月）[国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所]

▼平成 2 年水害によるその他水系の被災状況

死者、行方不明者	14 名（白川流域）、2 名（緑川流域） 1 名（菊池川流域）、5 名（大野川流域）
流失及び損壊戸数	家屋全損流出 3 戸（松浦川流域） 家屋損壊 65 戸（大野川流域）
床上浸水	937 戸（筑後川流域）、1,783 戸（嘉瀬川流域） 1,614 戸（白川流域）

出典：白川水系河川整備計画（令和 2 年 1 月）[国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所]
緑川水系河川整備計画（平成 25 年 1 月）[国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所]
菊池川水系河川整備計画（平成 23 年 9 月）[国土交通省 九州地方整備局 菊池河川事務所]
大野川水系河川整備計画（平成 26 年 12 月）[国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所]
松浦川水系河川整備計画（平成 24 年 8 月）[国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所]
筑後川水系河川整備計画（平成 30 年 3 月）[国土交通省 九州地方整備局 筑後河川事務所]
嘉瀬川水系河川整備計画（平成 19 年 10 月）[国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所]

【平成2年水害の被災状況】



▲武雄市街地



▲武雄市橘町の堤防決壊状況



▲武雄市北方町での浸水状況



▲東多久町での堤防の越水状況

出典：六角川水系河川整備計画（令和2年7月）[国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所]
六角川水系牛津川圏域河川整備計画（平成27年7月）[国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所]

【六角川治水碑：佐賀県武雄市】

- ・平成 2 年水害によって被害を受けた柵島橋たもとの堤防沿いに「六角川治水碑」が建っている。碑文には、被災状況や水害の経緯が写真とともに掲載されている。
- ・柵島橋付近の武雄市では 593 戸が浸水し、浸水面積は 110ha にも及んだ。



▲六角川治水碑の位置（佐賀県武雄市）

出典：国土地理院



▲六角川治水碑（佐賀県武雄市柵島橋そば）

令和 2 年 11 月 11 日撮影



▲六角川治水碑碑文

令和2年11月11日撮影

■六角川治水碑の碑文

「平成2年水害と六角川の治水対策」

平成2年7月1日から降り出した雨は、六角川流域で総雨量 400mm～500mm、7月2日の4時から10時までの5時間だけでも284mm（矢筈観測所）という観測史上最大の集中豪雨となりました。このため、六角川水系では未曾有の大洪水となり、7月2日には随所で破堤、溢水が生じました。あふれた濁流は、流域の広い範囲で市街地、家屋、田畑を呑み込み、浸水家屋8,636戸、浸水面積10,403ha、被害額484億円という大水害となり、流域住民の財産を奪い生活を破壊しました。

建設省ではこのような水害が再び起きないように、六角川水系の中上流部約41kmの区間を「直轄河川激甚災害対策特別緊急事業」に採択し、平成2年度から平成6年度までの5年間に330億円の投資を行って、六角川水系の全域にわたって大規模な治水対策を実施しました。」
 （平成7年7月建設省九州地方建設局武雄工事事務所）

▼六角川水系既往洪水の概要

洪水発生年月	原因	住ノ江橋地点	被害状況
		流量	
昭和 28 年 6 月	梅雨前線	約 1,400 m ³ /s	死者・行方不明者 : 3 名 家屋損壊 : 16 戸 浸水家屋 : 14,000 戸 ※旧杵島郡の被害
昭和 31 年 8 月	梅雨前線	約 800 m ³ /s	家屋損壊 : なし 浸水家屋(床上) : 40 戸 浸水家屋(床下) : 180 戸 ※旧杵島郡の被害
昭和 42 年 7 月	梅雨前線	約 1,300 m ³ /s	死者 : 2 名 家屋損壊 : 109 戸 浸水家屋(床上) : 1,754 戸 浸水家屋(床下) : 7,098 戸
昭和 47 年 7 月	梅雨前線	約 1,000 m ³ /s	家屋損壊 : 6 戸 浸水家屋(床上) : 220 戸 浸水家屋(床下) : 3,771 戸
昭和 55 年 8 月	台風、前線	約 1,200 m ³ /s	浸水家屋(床上) : 1,670 戸 浸水家屋(床下) : 3,165 戸
平成 2 年 7 月	梅雨前線	約 2,200 m ³ /s	死者・行方不明者 : 1 名 家屋損壊 : 47 戸 浸水家屋(床上) : 3,028 戸 浸水家屋(床下) : 5,658 戸
平成 5 年 8 月	前線	約 1,200 m ³ /s	浸水家屋(床上) : 98 戸 浸水家屋(床下) : 778 戸
平成 7 年 7 月	梅雨前線	約 800 m ³ /s	浸水家屋(床上) : 28 戸 浸水家屋(床下) : 347 戸
平成 21 年 7 月	梅雨前線	約 1,600 m ³ /s	浸水家屋(床上) : 65 戸 浸水家屋(床下) : 335 戸
平成 24 年 7 月	梅雨前線	約 1,400 m ³ /s	浸水家屋(床上) : 3 戸 浸水家屋(床下) : 14 戸
平成 30 年 7 月	梅雨前線	約 1,100 m ³ /s	浸水家屋(床上) : 19 戸 浸水家屋(床下) : 113 戸
令和元年 8 月	前線	約 2,000 m ³ /s	死者 : 3 名 浸水家屋(床上) : 1,132 戸 浸水家屋(床下) : 1,804 戸

出典：六角川水系河川整備計画（令和 2 年度 7 月）[国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所]

▼災害遺構位置図

